

# 「海の幸」など30点展示

渚の駅 館山ゆかりの画家展  
ギャラリー

9月1日まで

館山ゆかりの画家たち 9月1日まで。

ちの名画を集めた企画展「館山の海を愛した画家たち展」が、館山市の渚の駅たてやま2階ギャラリーで開かれている。日本美術史に影響を与えた洋画家の青木繁や寺崎武男、倉田白羊の絵画など約30点が展示されている。

青木繁《海の幸》誕

生の家と記念碑を保存する会が主催、房日新聞社などが後援している。

会場には、明治37年に友人らと同市布良を訪れた青木繁の代表作「海の幸」（国の重要文化財）の複製画をはじめ

房日新聞 2019.7.25付



複製画など30点が展示された会場＝館山

め、同時代に館山で暮らした画家たちの作品を展示。寺崎武男の手帳など貴重な資料も並んでいる。

千葉市から訪れた60代の男性は「『海の幸』は知ってはいたが、実際に見るのは初めてで感動した」と作品に見入っていた。青木繁「海の幸」記念館の小谷福哲館長は「館山の自然に魅了された画家たち

が、館山で多くの作品を残したということを知ってほしい」と来場を呼び掛けている。

8月4日午後1時半からは、展示作品の解説会がある。

入場無料。休館日は29日、8月26日。問い合わせは、事務局の池田さん（090-6479-3498）、河辺さん（090-3218-3479）へ。